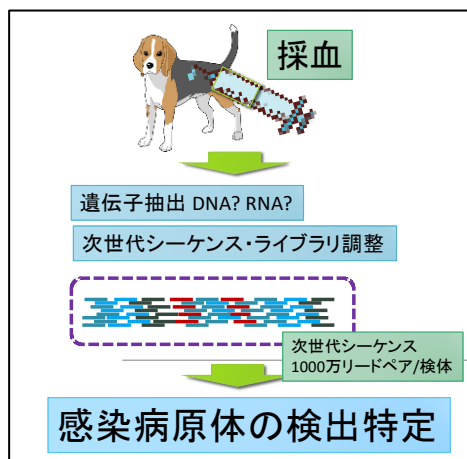
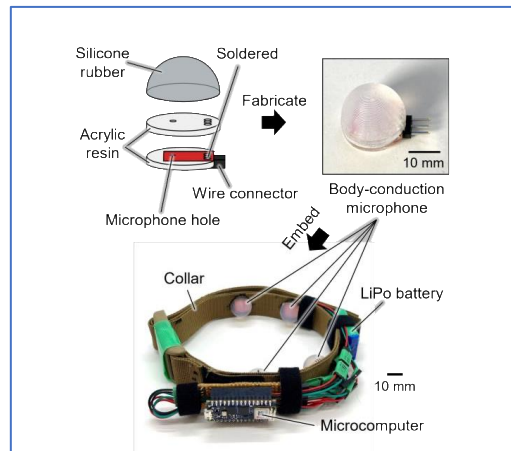


主な研究内容

1. 発熱症例からの新規感染症の検出
2. miRNAをターゲットにした犬用の癌検診マーカーの開発
3. 放射線同位元素を使用しない重症筋無力症診断用の自己抗体検出系の開発
4. 動物用ウェアラブルデバイスの獣医臨床への活用

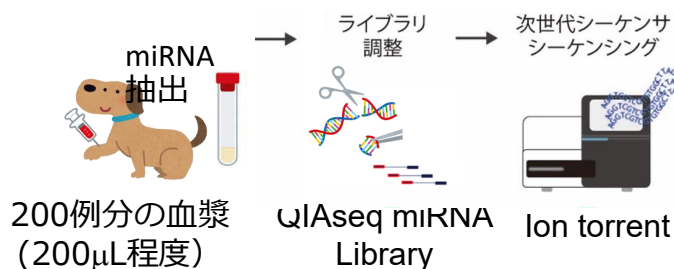


不明発熱動物の血液について網羅的遺伝子解析を行い、未知のウイルスを同定した



マイクロフォン内蔵するウェアラブルデバイスによりそう痒や咳などを自動カウントする。東京大学工学部伊藤寿浩先生、村松 駿先生との共同研究

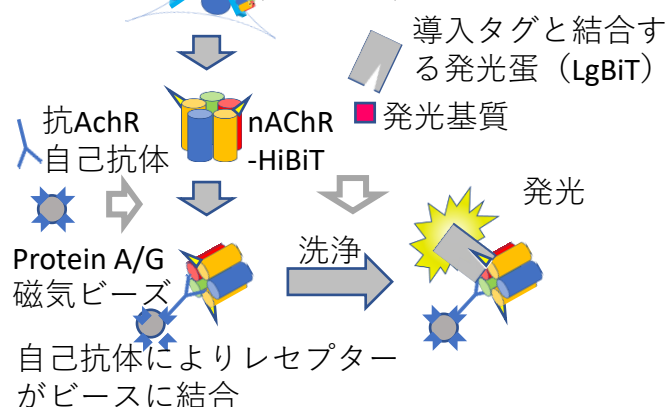
miRNAの解析方法



検診時に採取する血液中のmiRNAを網羅的に解析することで癌を見つけ出す（アークレイ社との共同研究）

磁気ビーズと発光タグによる検出法

5種類の蛋白からなる
アセチルコリンレセプター
(タグ付き)を遺伝子導入



重症筋無力症の診断に重要な抗アセチルコリン受容体抗体の検出は現在、海外に外注され、放射性同位体を使って検出されている。アセチルコリン受容体を遺伝子導入により発現させ、RIを使用しない発光系により自己抗体を検出する